

藤沢

講演会

田辺銀治

一龍斎貞橘

宝井琴調

一龍斎春水

一龍斎貞水

2015年 **3月14日** (土) 14:00開演 (13:30分開場)

藤沢市民会館 小ホール 全席指定 (税込): 3,000円 / 高校生以下 2,000円

チケット
発売日

2014年12月13日(土) 午前9時から (但し、発売日当日の電話予約は午前11時から)

チケット取扱場所

藤沢市民会館 0466-23-2415
湘南台文化センター 0466-45-1550
ぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 440-938)
財団HP (ゲッティ) <http://www.f-mirai.jp>

*未就学児の入場はお断りします。*出演者・演目は変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

【主催】  公益財団法人
藤沢市みらい創造財団

【後援】 藤沢市 / 藤沢市教育委員会

【問合せ】 (公財) 藤沢市みらい創造財団 芸術文化事業課
tel. 0466-28-1135

出演・演目

一龍斎貞水 「徂徠豆腐」
宝井琴調 「玉川上水」
一龍斎春水 「中村久子伝」
一龍斎貞橘 「梅花の誉れ」
田辺銀治 「英国密航」

藤沢 講演会



一龍齋貞水 いちりゅうさい ていすい

2002年、講談界では初めての人間国宝に認定される。6代目一龍齋貞水。講談協会の会長として存在感と芸人魂で後進を育成。

演目「祖徠豆腐(そらいとうふ)」

江戸時代中期の儒学者・荻生徠(おぎゅうそらい)は若い頃ニート状態。読書ばかりしていた為に食べ物がなくなり〜という記録から後世脚色された一席。



宝井琴調 たからい きんちょう

5代目宝井馬琴の弟子。4代目宝井琴調を名乗る。落語協会にも所属して、鈴木演芸場や末広亭の寄席も務める。

演目「玉川上水(たまがわじょうすい)」

江戸の飲料水不足を解消しようと計画された多摩川からの上水開削・引水工事は困難を極めた。農民出身で工事を任されていた玉川兄弟が、死を覚悟した時に出会った意外な人物との縁。



一龍齋春水 いちりゅうさい はるみ

藤沢小・藤が岡中・鎌倉高校と地元で育ち、声優・麻上洋子から貞水門下に入門して一龍齋春水。声優としての表現力と、話芸の深みを融合させて創作したいと歩む。

演目「中村久子伝～関東大震災の中で～」

手足無き人生「中村久子伝」は全10話完結。その中から今回は、故郷飛騨高山に戻っていた久子が、関東大震災の被災地・横浜へ、夫を救いに向かうという第5話目からの抜き読み。



一龍齋貞橘 いちりゅうさい ていきつ

貞水門下で2013年に真打昇進。男性の講談師として36年ぶりの真打昇進。日本大学芸術学部在学中に入門。

演目「梅花の誉れ(ばいかのほまれ)」

「寛永三馬術」という武芸談の中でも、曲垣平九郎(まがきへいくろう)が將軍の命で芝愛宕山の男坂を馬で乗り上がり、梅花を手折るという名高い一席。



田辺銀冶 たなべ ぎんや

藤沢の小学校での講談教室には、神田春陽と共に欠かせない存在。両親からの芸術家のDNAを受け継ぐ。二つ目だが、今回は前座の仕事である「高座返し」という役も快く引き受けてくれている。

演目「英国密航」

幕末の志士・伊藤博文以下5名が禁制を破り英国密航。浪曲や落語でも口演される一席。講談独特の修羅場調子という読み調子での道中付けにも面白みがある。

2011年3月11日の東日本大震災は、忘れることの無い大災害であり、大きな教訓となっています。そんな3月に開催される今回の「藤沢講演会」。「乗り越える」「チャレンジする」「立ち直る」という思いを主軸に出演者と演目のご案内をさせていただきます。

公益財団法人 藤沢市みらい創造財団 芸術文化事業課

〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-1(藤沢市民会館内)

tel.0466-28-1135

※市民会館には駐車場はございません。奥田公園駐車場(有料)をご利用ください。
なお、駐車場の台数には限りがございますのでなるべく公共交通機関をご利用ください。

<http://www.f-mirai.jp/arts/>

